

故郷を離れても、できる応援がある！

# 安芸高田市 ふるさと 応援の会

## 関西で広がる、

## 安芸高田応援の輪

2011年に発足した「安芸高田市ふるさと応援の会」。会員は広島・関東・関西に広がり、それぞれ活発に活動していますが、今回は関西地区の活動をご紹介します。



関西地区会長 児玉 徹さん(向原町出身)

30年にわたり仕事でオーストラリアで暮らしたことで、故郷への思いがますます強くなりました。自分の経験や人脈を生かして安芸高田市を応援し、神楽公演をきっかけに神楽門前湯治村へ足を運ぶ人が増えてほしいと願っています。また、「あきんど体験」では、生徒たちのうれしそうな表情を間近で見守れることが喜び。こうした活動が人生の潤いにもなっています。

関西地区は現在約80人の会員が所属。主な取り組みは「ひろしま安芸高田神楽関西公演」の全面的なサポートと応援です。運営や広報などを通して公演を支えながら、安芸高田市の魅力を関西の地で発信しています。

故郷への変わらぬ愛を届ける  
関西地区の取り組み

昨年入会した新規会員  
清水 美和さん(吉田町出身)



昨年6月にJR大阪駅での神楽のプロモーションを観に行った際に「安芸高田市ふるさと応援の会」を知りました。そこで声を掛けたところ話が弾み、大阪の真ん中で地元トークができたことがうれしかったです。地元のために何かしたいという思いはありますが、何をすればよいか分からず、くすぶっていました。応援の会に出会い、ようやく思いを形にできる場所ができたと感じています。広告デザインの仕事を生かし、売れる商品の分析や提案を通して、安芸高田市に少しでも貢献していきたいです。

こんな活動をしています！



高宮中学校「あきんど体験」応援

高宮中学校の修学旅行で行われる「あきんど体験」。大阪の商店街で、川根自慢の商品を生徒たちが販売します。安芸高田市出身の先輩として、生徒たちの挑戦を見守っています。



神楽公演の応援

関西地区で開催される神楽公演を全面サポート。前売りチケットの販売、ロビーでの物産販売、神楽衣装の試着体験など、来場者がより楽しめる仕掛けづくりもお手伝いしています。



スポーツ応援

サンフレッチェ広島や、安芸高田わかながハンドボールクラブの関西地区での試合を応援。県外でも安芸高田市のつながりが広がるよう、仲間づくりや情報発信にも取り組んでいます。

活動内容・  
入会方法はこちら



安芸高田市ふるさと応援の会  
ホームページ

商工観光課 観光係  
☎お太助フォン 47-4024



Hi! School

# ハイ! スクール

吉田高校と向原高校の  
特色ある活動をシリーズで紹介します

吉田高校

## 育てた豆でカフェ出店へ！ 地域に新しい価値を生む挑戦

昨年夏に発足した「吉高@CAFE PROJECT」。ぶどうジュースやスイーツなどの既存商品に加え、栽培した小麦を使ったパン作りや、豆から育てるコーヒーなど、材料作りから加工・販売までを目指す取り組みです。中でも力を入れているのが、コーヒー栽培。地球温暖化の影響で栽培環境が変化中、安芸高田市のブランド豆を育てたいと挑戦しています。活動は外部の協力も得ながら進めており、岡山の「やまこうファーム」に土作りの工夫を教わり、苗木を6本植栽。さらに「スターバックス コーヒー ジャパン」からの協力を頂き、店舗スタッフから焙煎や抽出の基本も学びました。収穫は2027年12月を予定。学校行事などでのカフェ出店を計画しており、どんな一杯に出会えるのか今から楽しみです。

苗木の高さを測ったりしながら、コーヒーの木の成長を見守っています。スターバックスの方のお話を聞いて、豆は産地や品種によって味が変わることを知り、とても驚きました。もともとコーヒーは好きでしたが、もっと深く知りたいと思うようになりました。自分たちのコーヒーが形になる日が楽しみです。

プロジェクトリーダー  
岡崎 翔太さん(2年生)



約1.8キロ(約180杯分)の収穫を見込んでいます。

広島県立吉田高等学校 吉田町吉田719-3 ☎42-0031



## 広島県広報コンクールで最優秀賞に選ばれました

市の広報「あきたがた」が、2025年度広島県広報コンクールの「組み写真の部」で最優秀賞、「広報紙・市部門」で優秀賞に選ばれました。各作品は、日本広報協会主催の全国広報コンクールへ広島県の代表として推薦されます。



最優秀賞

「組み写真の部」  
最優秀賞  
2025年10月号

〈講評〉  
表現、技術、レイアウトが圧巻の作品。波のような写真配置やキャッチコピーの入れ方で、神楽の躍動感と迫力が伝わってくる。キャッチコピーやリード文の大きさ・配置のバランスが良い。人物の数、斜めの構図、キャプションの角度や文字の大きさが組み合わせ、躍動感が強く伝わってくる。



優秀賞

「広報紙・市部門」  
優秀賞  
2025年8月号

〈講評〉  
「安芸高田市から見えなご雲」という希少性で目を引く表紙。特集は年表、地図、歴史紀行を通じて、地域の過去を分かりやすくまとめているのが良い。戦争体験者の話や、子どもたちの率直な声も載っており、他自治体より踏み込んだ深い内容となっている。戦争に関する書籍の紹介があることを評価。

☎秘書広報課 秘書広報係 ☎お太助フォン 42-5627